

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2016-72129(P2016-72129A)

【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-027

【出願番号】特願2014-201579(P2014-201579)

【国際特許分類】

H 01M 4/505 (2010.01)

H 01M 4/525 (2010.01)

H 01M 10/052 (2010.01)

【F I】

H 01M 4/505

H 01M 4/525

H 01M 10/052

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

正極と負極と非水電解質を備えた非水電解質二次電池であつて、

前記正極は、-NaFeO<sub>2</sub>型結晶構造を有するリチウム遷移金属複合酸化物を含有する正極活性物質を有し、

前記リチウム遷移金属複合酸化物は、遷移金属(Me)に対するリチウム(Li)のモル比Li/Meが1より大きく、遷移金属に対するマンガン(Mn)のモル比Mn/MeがMn/Me 0.60であり、

前記正極の、サイクリックボルタモグラム(CV)における酸化側に、2つのピークを有し、

前記正極の酸化側のCVにおける3.6V(v<sub>s</sub>.Li/Li<sup>+</sup>)より高い電位の領域の積分値に対する3.6V(v<sub>s</sub>.Li/Li<sup>+</sup>)より低い電位の領域の積分値の比が0.37~0.51の範囲であり、

前記負極の容量に対する前記正極の容量の比が0.86~0.95の範囲であることを特徴とする非水電解質二次電池。

【請求項2】

前記正極の酸化側のCVにおける前記の積分値の比が0.37~0.48であることを特徴とする請求項1に記載の非水電解質二次電池。